

地方創生交付金事業の効果検証について

資料2

事業名	農業観光のまち「大田庄」が潤うビジネスサポートプロジェクト									
交付金	平成30年度：地方創生拠点整備交付金			R2年度 事業費	— 千円			R2年度 交付金	— 千円	
事業概要	農業観光関連の中小事業者の生産性の向上をめざし、事業者が売上を伸ばすための新たな取組みや課題解決に向けて、スキルアップ研修などのビジネスサポート、商品開発やメニュー開発、販売実習、就労相談、子育て世代などの支援機能が一体となった拠点施設として整備を行う。									
令和2年度の 取り組み	基本目標－基本施策－施策 番号				概要					
	1-1	①創業の促進			世羅創業入門セミナーの開催					
	1-1	②地元事業者の支援			わーくわくママサポート出張相談の実施					
	4-1	①自治センターを中心とした地域づくり			自治組織が行う地域自治活動事業や自治組織の運営の支援					
交付金事業の業績評価指標（KPI）		KPI						R2年度 実績値 (前年比) H	R2年度 KPI達成状況 H-(A+B+C+D)	
		基準 値 A	H30 増加 B	R1 増加 C	R2 増加 D	R3 増加 E	R4 増加 F			増加 累計 G
①研修・相談により売り上げ上昇した事業者率（%）		0	0	35	15	5	5	60	10 (- 23)	-40
②研修を受け就労した人数（人）		0	0	60	20	15	10	105	30 (+ 16)	-50
③商品開発・メニュー開発品目数（品目）		0	0	10	15	10	5	40	20 (+ 13)	-5
事業効果	地方創生に効果があった			KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合						

【世羅町総合戦略推進会議での評価】

総合戦略のKPI達成に	有効であった
	有効とは言えない

内閣府への地方創生推進交付金事業実施報告例

地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

事業名	子育ての現役世代ベテラン世代交流施設整備事業										
交付金	平成29年度：地方創生拠点整備交付金			R2年度 事業費	— 千円			R2年度 交付金	— 千円		
事業概要	世羅町の西部地域の活性化や、まちづくりの推進に資する多世代が活躍する多世代交流拠点施設として、子育てカフェを中心に、子育て世代や高齢者の居場所となる複合施設を行政・教育・金融・福祉などの多様な機能と一体化するよう役場せらにし支所の敷地内へ施設整備する。										
令和2年度の 取り組み	基本目標－基本施策－施策 番号					概要					
	4-1	①自治センターを中心とした地域づくり				自治組織が行う地域自治活動事業や自治組織の運営の支援					
交付金事業の業績評価指標（KPI）		KPI							R2年度 実績値 (前年比) H	R2年度 KPI達成状況 H-	
		基準 値 A	H29 増加 B	H30 増加 C	R1 増加 D	R2 増加 E	R3 増加 F	増加 累計 G			
①施設利用者の多世代交流率（％）		0	0	30	10	10	5	55	28 (- 8)	-22	
②施設を利用する子育て活動団体数 (団体)		1	0	3	1	1	1	6	8 (+ 2)	2	
③世羅町への転入超過数（人）		-44	20	30	30	10	10	100	-43 (+ 48)	-89	
事業効果	地方創生に効果があった				KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合						

【世羅町総合戦略推進会議での評価】

総合戦略のKPI達成に	有効であった
	有効とは言えない